



RIDA スクリーン FAST シトリニン

【商品コード:4222PF】

穀物および飼料中のシトリニンの定量分析のための競合酵素免疫測定法

シトリニンは *Aspergillus*、*Penicillium*、*Monascus* 属のカビが生成するカビ毒で、しばしばオクラトキシン A とともに産生されます。シトリニンは 1953 年に日本の研究者によって初めて *Penicillium citrinum* に汚染された黄変米から検出され報告されました。シトリニンは、小麦・大麦・ライ麦・エン麦・トウモロコシや米などの穀類に発生し、オクラトキシン A と同様の腎臓への毒性を示します。シトリニン生成菌の生育にとって穀物の水分含量は非常に重要で、最低 16.5～19.5%が必要となります。

規格及び試験方法

・フォーマット:

48 ウェル(それぞれ 8 つのウェルを持つ 6 本のストリップ)のマイクロタイタープレート

・標準液:

0、15、45、135、405 $\mu\text{g/kg}$ (ppb)

・試料調製:

穀類、飼料:破砕、メタノール/水抽出、ろ過、希釈

・インキュベーション時間:

25 分

・検出限界 (LOD):

15 $\mu\text{g/kg}$ (ppb)

★取扱説明書、試料調製、その他 資料ご希望の方は、ご遠慮なくアズマックス㈱にお申し出ください。



RIDA スクリーン FAST シトリニン

【商品コード: 4222PF】

抽出、濾過と試験の手順

(注 : ストリップ 4 本以上を一度に使用しないでください。)

- ① 破碎した試料 5g を量り採り、12.5 mL の 70%メタノール液を加え、3 分間激しく振とう。
試料抽出液をろ過。
得られた濾液 1mL に蒸留水 1mL を加えて希釈。
ウェル当たり 50 μ L の希釈液を使用。
- ② 試験するのに十分な数の標準および試料用のウェルをフレームに挿入。
- ③ 標準液および調製された試料液各 50 μ L を
それぞれ別のウェルに 50 μ L ずつピペットで滴下。
各標準液および試料液で別々の新しいピペットチップを使用。
- ④ シトリニン抗体液(黒キャップ)を各ウェルに 50 μ L 加える。
10 分間、室温でインキュベート。
- ⑤ ウェル中の液体を捨て、マイクロタイターストリップをフレームに入れたまま吸水紙
(ペーパータオルなど)に 3 回連続して叩きつけ、ウェルの液体をよく除く。
すべてのウェルに 250 μ L の洗浄バッファーを満たし、同様に液体を捨て、
吸水紙に叩きつけ液体を除く。この操作を2回以上繰り返す。
- ⑥ 酵素複合体液(赤キャップ)を各ウェルに 100 μ L 加える。
10 分間、室温でインキュベート。
- ⑦ ウェル中の液体を捨て、マイクロタイターストリップをフレームに入れたまま吸水紙
(ペーパータオルなど)に 3 回連続して叩きつけ、ウェルの液体をよく除く。
すべてのウェルに 250 μ L の洗浄バッファーを満たし、同様に液体を捨て、
吸水紙に叩きつけ液体を除く。この操作を2回以上繰り返す。
- ⑧ 基質/色原体(茶色キャップ)を各ウェルに 100 μ L 加える。
5分間、室温(暗所)でインキュベート。
- ⑨ 反応停止液(黄色キャップ) を各ウェルに 100 μ L 加える。
よく混合して、エアースラングで 450 nm の吸光度を測定。



アズマックス株式会社

<http://www.azmax.co.jp/>

E-mail : sales@azmax.co.jp